

第3期栄区地域福祉保健計画

さかえ・つながるプラン

(平成28年度～32年度)

平成28年3月

栄区役所
栄区社会福祉協議会

これまで歩んだ道 これから歩む道

栄区に長く住んでいる方が、言っていました。「昔は、子どもは地域の財産であり、お年寄りは敬うべき存在。そんな道徳心のようなものが根付いていた」

今の栄区はどうでしょうか。

ある保育園の先生のお話、

「栄区の子どもたちは、お昼寝の時は大きく足を開き、のびのびとしている。ちょっとお行儀が悪いですが」

「それもいいですね」

お祭りで頑張っている町内会の方は、

「こんなに多くの小さな子どもはいないはず。お祭りの時に、子どもが孫を連れて戻ってくるんだ」

「それもいいですね」

そして、ある中学校の校長先生は、

「地域のお年寄りが優しいから、生徒たちがみんな甘えてしまう」

「それもいいですね」

地域でお聞きするお話は、どれも「いいですね」と言いたくなることが多いです。先人たちが歩んできた道が、地域福祉の風土を築き、まちを支えています。

さて、私たちが、これから歩む道はどうあるべきでしょうか。2025年問題、生活困窮、子どもの貧困、少子化など。課題は、多分野にわたり山積しています。これまでの延長線上には、解決はありません。しかし、栄区の先人たちは、いくつもの容易ではない道も乗り越えてきました。これからの栄区らしい地域福祉・保健の姿があるはずです。

今回の地域福祉保健計画は、行政が主体的に取り組む福祉・保健の総合計画ではありません。福祉・保健の関係者のための計画でもありません。地域社会における福祉・保健を区民の皆様とともに考え、ともに進む道しるべです。何か行動をおこすきっかけにしたいと思っています。「私はほっておけない」そんな多くの人たちが、地域にいて、一人ひとりの行動の積み重ねが、地域福祉の根幹をつくります。

これから歩む道を描きましょう。そして、まずは、歩き出しましょう。それぞれの一步で。くっきりとした栄区らしい地域福祉・保健の姿が見えてきます。

横浜市栄区長 尾仲 富士夫

第3期さかえ・つながるプランに寄せて

毎日のニュースで取り上げられている社会全体の高齢化の問題、栄区も例外ではありません。しかし幸い市内での高齢化率が一番高い区にもにもかかわらず、介護認定を受けた高齢者率は市内最下位という特徴は元気な高齢者が多いという実態を示しています。これは自治会町内会加入率が市内で一番という特徴も一つの役割をしているのではないかと思います。各種団体活動も活発です。区社協のピアハッピーでは連日様々な活動が展開されています。

栄区制30周年、いよいよ今年2016年11月3日、栄区は30歳の誕生日を迎えます。

30周年記念行事のテーマは「感謝・つながる・夢」です。ここまで豊かに発展してきた栄区を拓いてきてくださった先人たちに感謝し、区民一人ひとりが繋がり、次の世代の人たちが栄区民であることに誇りと幸せを感じられる夢のある栄区にと、このテーマの実現に向け第2期に続き、ここに第3期地域福祉保健計画がたてられました。

栄区社会福祉協議会の今抱えている大きな課題は次世代へのはたらきかけです。今の元気な高齢の方たちが担っているリーダーシップ、及び会員の方たちの活動を次に誰に託すのか、現在の各種団体活動が活発であればあるほど次の担い手へのバトンタッチがスムーズに行われるように、区社協が大切な役割を担っていきたいと考えています。

自治会町内会と地区社協が手を取り合って地域の面となり、そこに各種団体の活動が活発に行われる、そこをバックアップする行政、区社会福祉協議会ではないか、と考えます。社会福祉協議会は名前の通り、福祉（人が幸せに生きる）に関係することについてのマイナスの、又プラスの情報を集め、マイナスの改善、プラスの活性化を図り、それらをつないでいく、コーディネートの役割を果たさなくてはいけないと思っています。

区社協の活動資金は会費、賛助会費、横浜市社会福祉協議会からの補助金、共同募金・年末助けあい募金配分金、寄付金によって賄われています。決して潤沢ではない活動費を増やすには寄付金をお願いする努力も必要です。

今後は活動の広報を活発に行い、区民の皆様にも区社協の役割を理解していただき、この計画が形となるように、職員一同、なお一層の努力をしてまいります。

栄区社会福祉協議会 会長
日浦 美智江

目次

はじめに

第1章 計画の背景

- 1 栄区の現状と地域福祉の課題 2
- 2 第3期計画における7つのテーマ 8

第2章 第3期「さかえ・つながるプラン」区計画

- 1 基本理念 9
- 2 重点取組 9
- 3 今後特に注目すべき取組 10
- 4 テーマ 11
 - テーマ1 栄区らしい共助社会づくり 11
 - テーマ2 いつまでも安心して暮らせる地域社会づくり . . . 19
 - テーマ3 地域が支える出産・子育てから青年期までの
切れ目のない支援 . . . 29
 - テーマ4 区民総ぐるみの健康ライフスタイル 41
 - テーマ5 地域防災における福祉的視点の充実強化 55
 - テーマ6 障害者が安心して暮らせる地域づくり 63
 - テーマ7 地域と連携した生活困窮者支援 71

第3章 地区別計画

- 1 地区別計画とは 77
 - (1) 7地区のスローガン
 - (2) 7地区共通の取組
 - (3) 重点取組の設定
- 2 7地区の人口、世帯数、高齢化率 78
- 3 地区別計画
 - 1 豊田地区
 - 2 笠間地区
 - 3 小菅ヶ谷地区
 - 4 本郷中央地区
 - 5 本郷第三地区
 - 6 上郷西地区
 - 7 上郷東地区

第4章 「さかえ・つながるプラン（地域福祉保健計画）」とは . . . 108

第5章 策定の経過

1	第3期計画策定のプロセス	109
2	第2期計画の振り返り	110
3	用語解説集	111
4	委員名簿	114

はじめに

「さかえ・つながるプラン（栄区地域福祉保健計画）」は、地域の福祉保健課題の解決を図っていくことで、誰もが身近な地域で安心して暮らしていくことができる地域づくりに向けて、「みんながつながる栄区」を目指す計画です。

私たちの栄区は豊かな緑と親しみやすい水辺に恵まれ、鎌倉へとつながる旧街道が通る歴史があるまちです。そして、これらの自然や文化は、古くからこの地域に暮らす人々に憩いや豊かさを与えてくれています。

一方、核家族化、隣近所の関係の希薄化などにより、子育てに悩む母親の孤立、高齢者の孤立死、児童・高齢者及び障害者に対する虐待、心に悩みを抱えた末の自殺など、生活を脅かす新たな社会問題の増加は栄区でも例外ではありません。

第1期、第2期の「さかえ・つながるプラン（栄区地域福祉保健計画）」では、「担い手の発掘・育成」「情報の受発信」「健康・生きがいづくり」「交流の場づくり」「生活環境の向上」「高齢者・障害者等支援」「次世代育成・支援」の、7つの基本方針に沿って取り組んできました。これらの取組によって、サロンなどの交流・集いの場づくりや継続的な健康づくり・介護予防の取組など、身近な地域での活動が充実してきています。

第3期の「さかえ・つながるプラン（栄区地域福祉保健計画）」は、これまでの福祉保健に関係する団体や組織による活動から、自治会町内会を中心とする活動も地域活動の一環として位置づけ、地域の福祉保健課題を区民総参加によって解決していくことを目指します。